

県内総合

# 建設情報 Iwate

## 浸出水処理施設の改修を計画

### 大槌町の最終処分場 工事は26、27年度を想定

大槌町は、一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設(管理棟と第一調整槽)の改修を計画。改修工事は2期に分け、1期工事(2026年度から27年度まで)で管理棟、2期工事(27年度)で第一調整槽を予定している。管理棟分の設計については25年度で終わっており、工事費は26年度の当初予算案に上程する見通し。順調に推移すれば来年度早々に工事の入札を行い、6月の着工を目指すとしている。このほか、26年度は第一調整槽分の設計にも取り掛かる考えだ。総事業費は1億円を超える見込み。

一般廃棄物最終処分場は、同町小槌第1地割59番地38。1996年に供用を開始した。計画埋立量は4万1300立方メートルで、25年度現在の埋立済容量は3万3100立方メートル。処分場は、あと8年ほどで満杯になると推計されている。浸出水処理施設については、竣工から約30年が経過し、各設備の老朽化の進行、特に配管や水槽の著しい腐食、計器類の故障などにより大規模な改修が必要となったことから、町は25年3月に更新計画を策定。今年度で管理棟分の改修設計(三水コンサルタントが担

当)を実施した。計画スケジュールとしては、管理棟の工事については順調に推移すれば6月に着手し、棟内に設置する電気・機器類(動力・制御盤、回転機器、製缶、電線類)の製作・手配に10カ月、設置工事に2カ月、試運転などの確認に1カ月の工程で、27年7月の完了見込みとなっている。第一調整槽については26年度で設計を行い、工事は27年6月に着手し、機器類(現場盤、回転機器、電線類)の製作・手配に約7カ月、設置工事と試運転などの確認に約1カ月の工程で、28年1月の完了を見込んでいる。工事の入札は、管理棟、第一調整槽とも、製作・手配や設置工事を一括して発注する方針だ。町では最終処分場の今後について、残余容量と浸出水処理施設の

### ニュースのお知らせ

〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33  
本社編集部へ  
TEL (019) 623-8201  
FAX (019) 623-8204

設備更新を考慮しながら、民間の最終処分場への搬出など外部委託

を選択肢の一つとして、最終処分方法を検討していくとしている。

## 砂防堰堤改修を再公告

### 県大船渡審査指導 参加申請期限は26日正午

県沿岸広域振興局大船渡審査指導監は17日付で、「双元川筋坂本地区砂防堰堤改修工事」を再公告した。大船渡市の大規模林野火災に伴う緊急的な土砂災害対策として、既設堰堤の改修を実施するもの。25年12月16日付で公告後、仮設計書の再検討が必要となったため、入札を取りやめていた。申請期限は26日正午。入札日時は3月11日の午前9時から午後5時まで。開札は翌12日を予定している。(関連7面)

工事場所は、大船渡市三陸町綾里字坂本地区内。既設堰堤の規模は、堰堤高8.7メートル、堰堤長46.5メートル。工事内容にはコンクリート堰堤本体工(堤冠部含む)で474立方メートル、垂直壁工213立方メートル、鋼製堰堤本体

工22トンを盛り込んでいる。工期は351日間。予定価格には1億9102万1000円を設定している。工事は、総合評価落札方式(簡易2型)の対象で、BIM/CIM適用工事(受注者希望型)となっている。入札参加資格には、土木工事A級に登録されている者で、岩手県内に建設業法に基づく主たる営業所を有すること、などを付している。大船渡市の大規模林野火災による延焼範囲は約3370ヘクタール。現地は森林の焼損で山の保水力が低下しており、土砂災害が起こりやすい状況にある。このため同局土木部大船渡土木センターでは、土砂災害

警戒区域と焼損範囲の重なるエリアから、近辺に避難所などがある5カ所を抽出し、災害関連緊急砂防事業(砂防堰堤の新設3カ所、既設堰堤の改修2カ所)を展開している。

事業のうち、砂防堰堤の新設は、同市赤崎町字合足地内の合足の沢(5)ー1と同一2、同市三陸町綾里字坂本地区内の坂本の沢の3カ所で、いずれも砂防堰堤1基を整備。既設堰堤の改修は、同市三陸町綾里字坂本地区内の双元川と、同町字石浜地内の石浜の沢(4)の2カ所で、いずれも流木捕捉工と除石掘削を実施する。

今回再公告された双元川以外の4件は、全て工事の入札を終えている。



改良が予定される双元川の砂防堰堤

# いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える

## 小学生に対する防災学習は保護者の防災意識にも影響するのか？

岩手大学名誉教授(前岩手大学農学部森林科学科砂防学研究室教授) 井良沢 道也



はじめに

近年、土砂災害は激甚化するとともに急激な増加傾向にあります。局所的に発生する土砂災害は、地震によるもの以外、適切な避難行動によりある程度犠牲数を減少させることが可能であると考えられます。

学校で実施する防災教育の中でも、外部講師などの参加する「防災学習会」は工夫次第でより効果的かつ持続的なものになり得るか考えられます。一方で、これまで防災教育が保護者をはじめ地域全体の防災力に対して及ぼす影響については十分に把握されていません。そこで、「児童に対して行った防災教育が保護者の防災意識、ひいては地域に与える影響

を把握すること」を目的として調査を行いました。「防災学習会」は、2024年6月21日に九重町立野上小学校で実施しました(野上小学校のホームページ)に掲載。野上小学校は令和6年度に大分県から「防災教育モデル実践事業推進校」の指定を受け、地域と連携した防災教育に取り組んでいます。

調査方法

2024年6月21日(金)大分県九重町立野上小学校からの招聘により、同校5・6年生計39名の児童に、「身近な場所で起こる土砂災害を学ぼう！」と題して、防災学習会を行いました。当日は井良沢を含め3名で学習会を実施しました。本地区は令和2年(2021年)7月に豪雨災害に見舞われ、被害のあった世帯も多くあります。当日の午後2時間(小学校の1時間は45分)の時間をいただき、できるだけ地元表-1の内容で防災学習会を実施しました。

当日実施した「防災学習会」について、児童と保護者にアンケート調査を実施しました。また3カ月後にも同様の調査を行いました。このように、今回



2時限目に実施したDIGの様子

表-1 野上小学校での防災学習会の実施内容

- 「身近な場所で起こる土砂災害を学ぼう！」  
1時間目  
1. イントロダクション  
2. 土砂災害の種類を知ろう  
3. 九重町はどんな所にあるの？  
4. 身近な場所で土砂災害があるかも【模型実験の実演】  
5. 土砂災害に襲われないために  
6. まとめ  
2時間目  
ハザードマップで身近な災害の危険を調べてみよう(DIG)

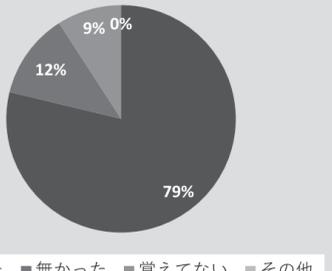


図-1 お子様から防災学習会の話がありましたか？

の調査では、保護者の方へもアンケートを実施することで、「児童に対して行った防災教育が保護者の防災意識」にどのような影響を与えるのかを把握しようとした。

調査結果

防災学習会に参加した小学校を対象としたアンケート調査及び聞き取りにより、特徴的な事項として以下のことがわかりました。6月21日(金)に行った防災学習会以降から今まで、家族や友人などに防災についての話をしたか？については、36名中、28名の児童が話したと答え、それを誰に話したか？の質問には27名の児童が家族と話したと答えています。一方、2回目の保護者アンケートでは、6月21日の防災学習会についてお子様から話を聞いたことはありましたか？については、33名中、26名の保護者があったと答えています(図-1)。これは児童の結果と整合している結果となりました。さらに、学校であったお子様との防災の話がきっかけで、お子様や家族で防災に関する話の頻度は増えたと思いますか？の質問には、33名中14名の保護者が増えたと答えています(図-2)。このように、保護者の方へもアンケートを実施することで、「児童に対して行った防災教育が保護者の防災意識」にも影響を与えることが確認できました。なお保護者の方数名は地区の防災関係の役員にも話

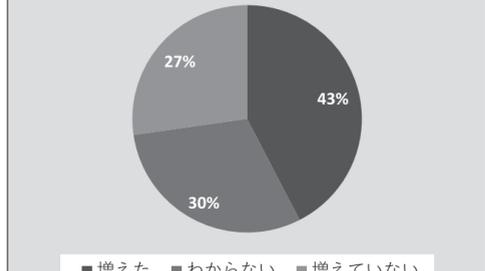


図-2 学校であったお子様との防災の話がきっかけで、お子様や家族で防災に関する話の頻度は増えましたか？

を伝えており、地域にも影響を与えていることがわかりました。このことから、保護者への伝達意図を高くするような教育内容を工夫することが重要であると思います。また、家族に対しての防災教育も並行して行うことが望ましいと言えます。

岩手県では2019年10月の令和元年東日本台風による災害をはじめ、近年、豪雨災害による被害が多発しており、防災教育に寄せる期待も大きいかと思えます。今回の報告が参考になれば幸いです。

今回紹介した「防災学習会」の取り組みは、大分県九重町立野上小学校の全面的な協力によるものです。野上小学校の教員の皆様、児童、そして保護者の皆様には大変お世話になりました。

参考文献

- 1) 九重町野上小学校だより(2024)：土砂災害防止学習実施、2025.4.1参照<https://syou.oita-ed.jp/kokonoe/nogami/keiei/20915/>

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

溜樹 回転式ベンチレータ

設置・移設が簡単！  
災害にも強い安心設計！！  
販売・レンタル可能

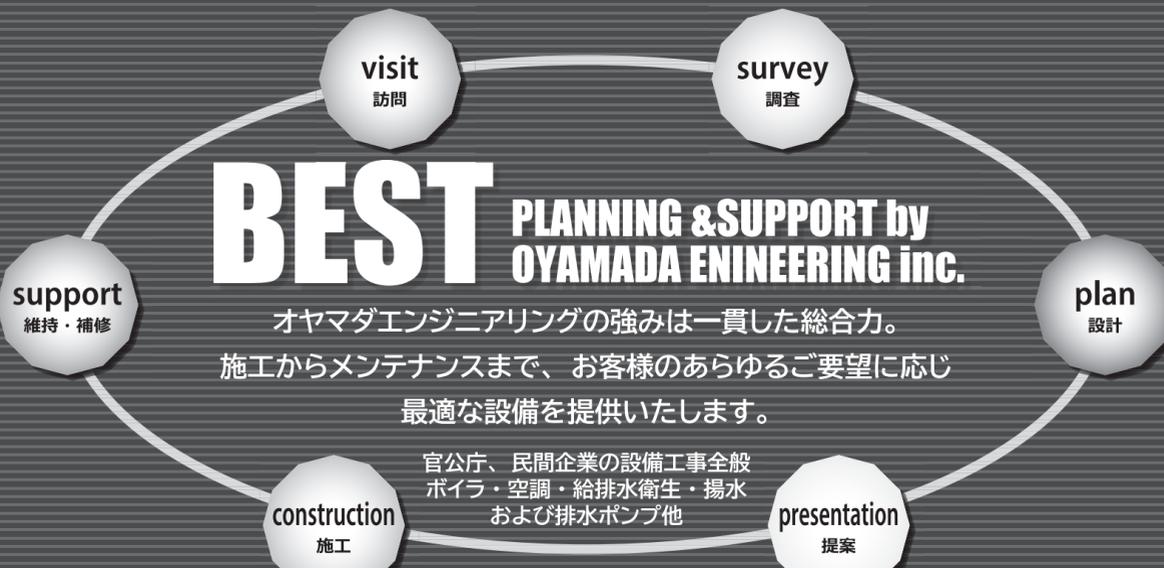
## 少量危険物保管庫 プロテクトハウス

販売・レンタルのお問い合わせは TEL.019-614-0341

**(株)備品レンタルセンター**

<http://www.bihin-rc.co.jp> ★ [info@bihin-rc.co.jp](mailto:info@bihin-rc.co.jp)

# 技術は人を熱くする 設計・施工・メンテナンスまでトータルサポート



省エネにつながるベストな提案  
3D画面でわかりやすく説明



高い技術力と安全な施工  
お客様に寄り添った対応



## オヤマダエンジニアリング株式会社

- 本店 〒020-0839 盛岡市津志田南三丁目7番77号  
TEL 019-613-7036 FAX 019-613-7037
- 流通センター 〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南一丁目5番11号  
TEL 019-638-1216 FAX 019-638-1931
- 事業所 秋田営業所 〒010-0946 秋田市川尻総社町7番5号  
TEL 018-863-8570 FAX 018-863-8615
- 仙台営業所 〒984-0831 仙台市若林区沖野6丁目24番1号 七町プラザ101号  
TEL 022-352-4331 FAX 022-352-4341